

ミュージカル牧場新聞

かわしまホームのみなさん、こ

んにちは、「よこはまミュージカル牧場」です。こちらには去年の9月ぶりとなります。この半年、お相撲さんが喧嘩したり、ものすごく雪が降って自動車が立ち往生したりいろいろありました。わたしは、何も変わりません、前回同様、にぎやかに送りしたいと思います。

今回は、なんとあの剣豪・宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘を描いた「巖流島(がなりゅうじま)」というを作りました。

宮本武蔵さんと佐々木小次郎さんが決闘したのは1612年だそうです。山口県と福岡県の間の関門海峡に浮かぶ小島が巖流島です。

そんな不便なところを決闘の場所にしたこともあって宮本武蔵がはなはだしく遅刻してきて、イライラした小次郎が結局負けてしまったのは有名なエピソードです。

やっぱりこの話の教訓としては、「イライラしてはいけない」ということですね。最近流行の「アンガーマネジメント」によると「怒っても6秒待つとだいたい大丈夫」だそうですよ、心に刻んでおきましょう。

…ですので、わたしたちの上演がいまいちでも6秒我慢してください。では、ミュージカル牧場版「巖流島」開演です。

■巖流島はどこにあるの？

「巖流島」はもともと「がなりゅうじま」

ではなく、「船島(ふなしま)」と呼ばれてたそうです。小次郎が「がなりゅう」と名乗っていたので、決闘のあと、「巖流島」と呼ばれるようになりました。…と。



巖流島の戦い

♪「憧れのハワイ航路」

今日とりあげる歌が、1948年に世に出た「憧れのハワイ航路」です。歌つたのは岡晴夫さん、2年後に美空ひばりさん出演の映画ができました。

今では珍しくもなんともないハワイ旅行ですが、当時はそうそう行かれるものでもありませんでした。記録によると13日くらいの船旅だったらしいです。

実際に日本人がハワイに何とか行けるかな？というの1960年代くらいから当時、寿屋(今のサントリー)が「トリスを飲んでハワイに行こう」という広告をやっていました。さて、実は日本で最初にハワイに行つた人は誰でしょうか？

答えはお芝居の中で。



映画「憧れのハワイ航路」右が美空ひばりさん



今日はみんなで歌を歌って「ミュージカル」を作りたいと思います。歌はそういうわけで、「憧れのハワイ航路」です。

「憧れのハワイ航路」

晴れた空

そよぐ風

港出船(でぶね)の

ドラの音(ね)楽し

別れテープを

笑顔で切れば

のぞみ果てない

はるかな潮路(しおじ)

あく憧れのハワイ航路



■よこはまミュージカル牧場について

2008年夏に創設、「誰にでも楽しんでもらえるミュージカル」を考えて、作品を作りはじめました。最初はとても苦労しましたが、2010年頃より福祉施設などでの公演をスタートしたところ、ありがたいことにと喜んでいただけるようになりました。2016年には公演100回を達成しています。

古今東西の様々な題材を、カラフルな歌とダンスで彩りながら送り出すパフォーマンスはどんな人でもたちまち楽しい気持ちにさせると好評です。また「よこはま」の名前のおり、横浜の埋もれた民話や伝承を掘り起こしてお届けするコーナーもあります。